

## 令和 4 年度 在宅医療に関するアンケート調査について

### 1 目的

市内医療機関における在宅医療の提供状況等を把握し、在宅医療推進における課題の抽出及び対策の方向性等を検討していく基礎資料とするものです。

### 2 対象

市内医療機関

- ・ 医師会所属の診療所
- ・ 在宅療養支援病院
- ・ 非会員の在宅療養支援診療所

### 3 調査項目・・・資料 3-2 のとおり

### 4 調査時期及び調査方法

令和 4 年 12 月上旬 FAX や郵送等にて調査票送付

令和 4 年 12 月下旬 返送締切（返信用封筒）

令和 5 年 3 月 報告書作成

※別調査から確認可能な項目について（吹田市年輪サポートなびや近畿厚生からの情報）各種届出情報、往診の可否、対応可能な処置の有無、24 時間対応、看取り等、他調査から把握できるものは調査項目から除外。

# 調査項目一覧（案）

資料3-2

区分	No	質問項目	選択肢	前回調査	他で補完
基本情報	1	医師の体制	常勤医の人数 定期的に診療する非常勤医の有無		
	2	各種届出情報	在支診1～3、在支病 医師会会員のみ確認する。		近畿
実施状況	3	訪問診療、往診の有無	①はい ②いいえ (①はいの場合、設問4-17へ) (②いいえの場合、設問18-20へ)		
	4	往診の実績	過去1年間の延べ件数 ①なし②10件以下③10件以上④30件以上⑤50件以上 又は実際の件数を記入する	○	
	5	①訪問診療の実績	過去1年間の延べ件数 ①なし②10件以下③10件以上④30件以上⑤50件以上 又は実際の件数を記入する	○	
		②訪問診療のキャパシティ	現体制における1か月間に対応可能な在宅患者の最大数。 (週1回未満の訪問診療が可能な安定期の患者を想定)		
	6	緊急往診の対応状況について	①対応可能(原則24時間365日対応可能・診療日は1日対応可能・診療時間は対応可能) ②今後対応の意向あり ③対応の意向なし	○	
	7	緊急時の連絡を受ける体制について	①対応可能(原則24時間365日対応可能・訪問看護ステーションと共同して原則24時間365日対応可能・診療日は1日対応可能・診療時間は対応可能) ②今後対応の意向あり③対応の意向なし	○	
	8	看取りの実施状況	(1)看取りへの対応状況について ①対応可能(原則24時間365日対応可能・診療日1日対応可能・診療時間は対応可能) ②今後対応の意向あり ③対応の意向なし ④その他(具体的に )	○	
			(2)在宅看取りを実施していない理由 ①患者からのニーズがないため ②経験がなく不安が大きいため ③対応する時間が確保できないため ④24時間対応を求められると思うため ⑤その他(具体的に )		
	9	ACP(人生会議)について	(1)ACP(人生会議)を知っていますか。 ①はい ②いいえ  (2)ACP(人生会議)について在宅医療提供の場面で実践していること ①本人からの価値観等の聴取 ②代理意思決定者の選定に関する支援 ③本人、家族、医療介護関係者等での話し合いの場の設定 ④他職種とのACPに関する本人の思い等の共有 ⑤その他(具体的に ) ⑥特に実践していない (複数回答あり)		
	10	訪問診療で対応可能な処置について (複数回答あり)	①経管栄養(胃ろう) ②中心静脈栄養 ③専門的な医療の往診 ④インスリン自己注射 ⑤管理・指導 ⑥ストーマ ⑦経管栄養(経鼻胃管) ⑧喀痰吸引 ⑨皮下植込み型ポートから ⑩薬剤注入 ⑪腹水穿刺 ⑫麻薬を用いた疼痛管理	○	吹田 年輪 サポート なび

連携	11	病院との連携において、課題に感じていること (複数回答あり)	①入退院時の情報共有(退院前カンファレンス) ②急変時の入院の受入 ③レスパイト入院の受入 ④病院職員の在宅医療への理解 ⑤日頃からの関係作り ⑥ICTの活用 ⑦その他(具体的に )		
	12	ケアマネジャーとの連携において、課題に感じていること (複数回答あり)	①在宅医療への理解 ②医療的なアセスメントに関する連携 ③日頃の情報共有のあり方 ④その他(具体的に )		
	13	在宅医療を提供する医師への負担軽減策として、必要と感ずるものについて (複数回答あり)	①複数の医師によるグループ診療等の相互協力体制 ②在宅医療の経験豊富な医師からの助言・相談体制 ③診療所医師と在宅専門医との連携・引継ぎ体制 ④訪問看護との連携体制 ⑤その他(具体的に )		
	14	在宅医療・介護連携におけるICTの活用について	在宅医療・介護連携に関するICTツールを活用したことがありますか。 ①活用している ②活用していないが関心がある ③活用していない ※「①活用している」場合は、ICTツールの名称を記載		
今後の課題や対策	15	在宅医療をはじめたきっかけ (複数回答あり)	①かかりつけ医として診ていた患者・家族から要望があったから ②高齢化に伴い、在宅医療に対するニーズが高まっているから ③在宅医療の分野に魅力を感じたから ④経営の観点から、在宅医療に参入した ⑤その他(具体的に )		
	16	在宅医療を提供する上での課題について (複数回答あり)	①在宅医療に従事する医師の確保 ②急変時の入院先の確保 ③24時間365日体制の確保 ④専門外の医療行為や疾患に対する対応 ⑤看取りや急変時対応における知識や技術の向上 ⑥在宅療養を支える在宅介護サービス体制 ⑦市民への在宅医療の仕組みや対応可能な支援等に関する普及啓発 ⑧在宅医療への診療報酬上の評価 ⑨その他(具体的に )		
	17	17の課題を解決するために必要なことについて	自由記載		

「在宅医療を提供していない」場合	18	今後の在宅医療への対応の予定について	①対応する予定はない ②関心があり、対応を検討している。 ③対応を開始する予定がある		
	19	「在宅医療を提供していない」場合その理由について (複数回答あり)	①医師の負担が大きいため ②外来医療で手いっぱい余裕がないため ③夜間・休日の対応に不安があるため(24時間対応体制の確保) ④採算がとれないため ⑤ノウハウがないため ⑥協力し合える他診療所(医師)がないため ⑦訪問看護の利用の流れや役割が分からないため ⑧必要性を感じないため ⑨専門的な診療科であるため ⑩その他(具体的に )		
	20	在宅医療に関する各診療所における課題等	自由記載		